

平成 31 年 2 月 20 日

平成 30 年度 第 3 回学校運営協議会 議事録

大阪府立勝山高等学校

1 日時 平成 31 年 2 月 20 日(水) 15:30~17:00

2 場所 本校会議室

3 次第

(1) 学校長挨拶

【教頭】はじめに、学校長よりご挨拶申し上げます。

【校長】本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。第 3 回の学校運営協議会です。今までの協議会のなかで頂戴しました様々なご助言を受け、改善してまいりました教育活動の総括につきまして、次年度につなげるご助言を頂戴したいと思います。よろしく申し上げます。

(2) 資料確認、議事録について

【教頭】本日の資料についてご説明します。表紙が次第、裏面が名簿、2 枚目から右下 25 ページまでが平成 30 年度学校教育自己診断の集計結果となっています。続いて平成 30 年度生徒による授業アンケートについての報告が 2 枚、A 3 の平成 30 年度学校経営計画及び学校評価が 2 枚。平成 30 年度学校経営計画に基づく各分掌、学年の達成目標が 3 枚。最後に平成 31 年度学校経営計画及び学校評価が A 3 版 1 枚となっております。乱丁、落丁はありませんか。

なお、議事録作成のため、この会議の録音をさせていただくことをご了承ください。議事録はホームページを通じて公開していますが、保護者からのご意見、ご要望はありませんでした。

(3) 協議

【会長】ただいまより協議に入ります。まず、平成 30 年度学校教育自己診断アンケート結果概要および集計結果について、松本首席より説明をお願いします。

【松本】平成 31 年度学校自己診断アンケート及び結果概要および集計結果について報告します。資料の 2 枚目をご覧ください。1 提出率になっています。2 肯定的回答率の高い

質問項目、3 肯定的回答率の低い回答率、それぞれ7項目ずつ挙げています。どちらからも例年と同じような問題が見えてきます。中には、肯定的回答率の低い質問項目の1のように昨年度比倍になっているものもありますが、全体的に昨年度より5ポイントから、6ポイント上昇しているという傾向が見られます。裏面が過去3カ年の傾向です。注意のところは見ていただきまして、1 提出率の変化はご覧の通りです。2 全般変化の特徴としまして、例年生徒の回答分布と保護者の回答分布は連動するのですが、今年度2年生に関しては平成29年度の1年の回答率から平成30年度2年の回答率について肯定的回答率が非常に上がりました。以降今年度の各集計結果が1～26ページまで全て載せております。なお各質問項目についての過去4年間の変化が手元にありますので何かお尋ねになりたいことがありましたらと思います。

【会長】事前に委員の皆様には目を通していただいておりますが、1分程度見ていただいて、ご質問がありましたらお願いします。

【委員】これは事前に配られたのですが、端的に何が良くなって何が悪くなったのかが分からないのです。全体的に肯定的なものが少しアップしたということは分かります。単なるデータの羅列ではなく、なぜ良くなったのか、次にどのようにつなげたら来年度もっと良くなるのかアンケートを上手く使ってターゲットを絞ったものがほしいです。

【会長】経年比較であがってきた根拠、来年につなげることのできるものがあれば松本先生お願いします。

【松本】12月にアンケートを実施して、回収して1ヶ月程度ですのでアンケート結果をまとめたばかりで、各項目について結果の原因分析についてはまだ行っている最中です。ただ、個人的な見解として、先ほど挙げた生徒の質問項目の「学校の公式ウェブサイトをよく見る。」という項目のポイントが昨年度比倍になったのは、今年度ホームページの形式を従来のものに加え、ブログ形式をとるようにしたことがあるのではないかと考えています。なるべくタイムリーな情報、例えば、球技大会をやりました、百人一首大会やりましたなど次々に情報を挙げるようにしました。そのことで生徒の方もホームページを見る機会が増えたのではないかと考えております。それ以外の質問については今分析している最中です。

【会長】よろしいでしょうか。他にございましたらお願いします。

【委員】前にもお聞きしましたが、このアンケートは大阪府内の高校で全て同じものを行っているのですか。

【松本】 このアンケート項目については、必ずこれは聞かなくてはならないという指示のある項目を入れ、後は本校独自の項目になっています。

【委員】 具体的にどれが独自のアンケート項目なのですか。

【松本】 少し時間が掛かります。

【委員】 学校全体の評価として一番分かるのが、質問項目の「学校に行くのが楽しい」「勝山高校に入学してよかった」だと思います。その数値が高いか低いかについては、それぞれ解釈があると思いますが、ではどのようなところが楽しいのか、よかったのか、それがこのアンケートではわからない。学年を追うごとに肯定的になる傾向が高いのはそうなのか。先ほどの委員のご意見にあったようにアンケートの分析が欲しいと思います。感触だけでも先生方どなたか言ってもらえませんか。

【会長】 どなたか、ございませんか。

【校長】 このアンケートについては、一部本校独自での質問項目がありますが、大きくは教育庁の出している基本形から変えていません。どこの学校も大体似ているのではないかと思います。本校独自で表現を変えたり、質問項目を変えた部分については今資料がありませんので、すぐにはお答えできません。入学してどこが良かったかについては、卒業年次の3年生に人権アンケートや学年独自のアンケートを毎年しておりまして、そこから具体的にどのような取り組みが良かったかを分析し、次につなげていかなければと思います。そこまでは今日はまだ追いついていません。

【会長】 それでは、分析も含めまして今後の課題になるのではないかと思います。よろしくお願いします。

【委員】 教職員アンケートの中で、「職員会議をはじめ各会議が職員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能している」という項目に対して、かなり（肯定的意見の）パーセントが低いのですが、色々な場面で先生方の思いが反映されていないのではないかと思います。また、部活動に関しても子供たちが入る部活がないとよく言うのですが、そのような子供たちの思いが反映されているのか疑問に思います。以前地域でのイベントの際に、勝山の文化祭でやっていたブラスバンド部を呼んでみてはという話があったのですが、そのような活用はされているのですか。
組織の中で問題があったときに、意見を出し合って解決していくべきだと思うのですが、その部分で先生方のモチベーションはどうなっていますか。

【会長】この「職員会議をはじめ各会議が職員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能している」について、先生方何かありましたらお願いします。

【教頭】職員会議につきましては、議論の場ではなくなり、校長の諮問機関であり連絡報告の場になっています。職員会議の前に運営委員会、各委員会、分掌の会議では話し合いや協議は行なわれています。ただ、職員会議はそのような場ではなくなっているのは事実です。

【委員】それでは、この項目を入れるのはおかしいですね。

【教頭】他を含んでいるのだと思います。職員会議だけが会議ではありませんので、その他の委員会などを含めて活発に行なわれているのかという質問項目ではないかと理解しています。

【委員】私も教職員のアンケートの2番から5番までが非常に気になります。この数値が例年あまり変わっていないのならば、分掌・組織の見なおしが必要なのではないのでしょうか。私の中学校でも週に1回各種部会、学力向上部会などを開いていて、そこで話し合った内容が学年・教科で共有されています。そのような約束が出来上がっているならばこれはもっと変わっていきけるのではないかと思います。勝山高校は生徒をどうするかの前に、教職員の団結が非常に大事で、教員がどのように機能的に同調性を発揮していきけるのかを構築していくことで、生徒も変わっていく学校も変わっていく。それが大事ではないかと思います。一方、3年になると肯定的意見が増えるのを見ると、やはり先生方が3年間積み重ねてきた努力の成果が現れているのではないかと思います。

【会長】これからも先生方のモチベーションの上がる取り組みをお願いします。協議題の2つ目「授業アンケート」についてお願いいたします。

【教頭】生徒を対象とした授業アンケートを、年に2回行なっています。アンケート質問内容は昨年と同じ項目で、生徒は無記名で答え、さらに自由記述欄もあります。その結果を自由記述も含めて先生方にお返しし、先生方はその結果を受けて振り返りシート、分析・検討・今後の対策を書いて管理職に提出する流れになっています。裏面の結果を見ますと、1回目から2回目を比べると、やはり肯定的な回答が増えているように思われます。満点は4ポイントです。次のページにあるのが個人の先生に返す結果です。右下に五角形のチャート図がありますが点線が学校平均、実線がその先生の平均ですのでこの先生は本校の平均をかなり上回る評価が得られていることになります。各項目についても生徒が答えているので、それをもとに先生方は今後どうしていくのか、また、ど

うしてこうなったのかの分析を振り返りシートに書いて管理職に提出するというシステムになっています。

【会長】 このデータについてご質問がありましたら、お願いします。

【委員】 このアンケートも同じ項目で経年的にしているということでもよろしいですか。

【教頭】 昨年度かなり検討を加え、去年、今年は同じ質問項目になっています。

【委員】 この2年は同じということですね。この結果が評価のすべてではないとは思いますが特に高い人、逆に低い人に対する管理職の対応はどのようにされるのですか。

【校長】 特に低い結果が出た先生については面談をして、管理職による授業見学を重ね、どのようなところがこのような結果につながり、どのようなところを改善していけば良いのかを話し合っていくようにしています。

【委員】 逆に高いほうの先生にはどのように対応するのですか。

【校長】 高いほうの結果を皆で共有できる形になれば一番いいのかもしれませんが、この評価育成システムは府の仕組みの一つで、個人個人の結果は非公表になっています。一人の先生の評価が高いから皆で見学に行きましょうとなると、そこを暴露することになりますので慎重にしなければならないところです。

【委員】 もちろん慎重であるべきだと思います。大学でも同じようなことをしていて、大学では文科省からそのような評価の高い人、低い人に対してある程度インセンティブをつけるようにいられています。阪大でも少し賞与を増やすという議論になっています。もちろん低い方は努力をしてもらわないといけませんが、高い評価の方にもモチベーションを与えるようにしてやっていただくため、また、他の先生方にも、この先生はいい活動をされているということを見せることによって他の先生方もそれを真似するとか、高い評価の方を公開することによる効果もあります。時代はその様な流れになっていると思いますので検討いただければと思います。

【会長】 他にご意見、ご質問ありますか。

【委員】 先生方が本当に大変、かわいそうだと思っています。企業でこんなことをしても、企業は良くなりません。これは要するに生徒が点数集めをしている意味合いが強いと見ているのです。起業家としてみていると、どんな問題のある子どもでもこの子に活躍して

もらわないとうちの会社は成り立たないという思いでやっています。毎日来てくれるってありがたいですね、それだけで褒めてやる。そこが企業と学校の違いが大きいと
思っているのです。やはりその人のやる気を引き出すようなことをしていかないと、ただ
単に点数で良い悪いなんて言われてもやる気が起きないと思うし、そこではないのでは
ないか、これはこれで正しいのかもしれないですよ、学校の組織体の中では。でも、生
徒の心に残る先生ってそういうものなのかな、僕は違うように思っています。僕の中
ではドラマの世界がやっぱり学校だと思っているし、あんな先生に僕は出会っていたから
こういうふうにしたと思っているし、起業家になって良かったと思うのもそういうこと
なのです。そこの捉え方を一概に点数だけで評価されるものではなくて、低い人は低
いなりにちょっとしたきっかけがあれば伸びるだろうということを校長先生にわかっ
てもらって、そこを押し上げる努力をお願いしたいと思っています。

【会長】 またよろしくお願いします。

【委員】 危惧していることですが、子どもたちから見てよく叱るとか、規律を守らせると
かそういうことをしている先生の評価が、しんどい評価になっていることは大丈夫です
か。

【校長】 そういう側面はあります。ですから授業技術や、授業準備などの要素以外で評価
が出る場合がありますので、そこは普通の生徒或いは先生方の様子から私の方で、その
要素も含めて話をしています。

【会長】他に何かありますか。無ければ、校長から平成 30 年度学校評価(案)について説明
してください。

【校長】 学校教育自己診断の結果と分析という項目で、先程首席の松本から分析結果の説
明が有りましたが、こちらで改めていくつかの項目について確認をした部分を記載して
います。学校教育自己診断の生徒の評価の中で、「授業では積極的に学ぼうと思うような
環境が保たれている」の項目については、肯定的意見が昨年度から 10.8 ポイント上昇し
ました。と言っても 59.1 ですので、まだ全然高い評価とは思っていませんが、今年度の
重点的取り組みとして先生方で年度当初共有して、まずはしっかりと授業で子どもたち
が安心して学びに向かえる教室環境を作りましょうということで先生方が頑張った結果、
去年より 11 ポイント改善したことで効果は出ていると考えています。

次に、「授業はわかりやすく、内容に満足できる」この肯定ポイントも昨年度に比べて
15.5 ポイント上昇しています。生徒の対応などで忙しい中、先生方が授業づくりに骨を
折ってくれた結果、こういう形で改善したと思っています。70.1%の肯定でかなり良いと

ころまで戻してきました。

また、「教え方に工夫をしている先生が多い」の項目の肯定評価も昨年度に比べて7ポイント増、それから「先生は学習で自分が努力したことを認めてくれる」と感じている生徒も昨年度と比べて10.3ポイント増ということで、この授業に関する評価が昨年度と比べて上がっていることが、今年度全体の改善傾向に影響しています。

次に生徒指導等という箇所、「先生は生徒の意見を聞いてくれる」この肯定評価ですが、今年の2年生が昨年度1年生だった時のその肯定評価と比べて同じ生徒たちの評価が16.1%上昇しました。今年の3年生が、昨年度2年生だった時と比べて16.3ポイント上昇、これは当然の結果と言えれば当然の結果で年を重ねるたびに教員との信頼関係が構築されてこういった肯定評価が高まっていると思いますが、この伸び幅に関しましても、昨年度より少し高かったと分析しています。先生方が生徒との対話を積極的に行ったことが、こういった結果に繋がったと分析しています。それから「担任の先生以外にも保健室や相談室などで、気軽に相談できる先生がいる」の項目についても、同じ生徒が去年に比べて今年どう感じているのかということで、特に今年の3年生が去年に比べて21.3ポイント伸びているわけですが、今年の2年生が1年時に比べて9.9ポイントのアップで3年生と比べると伸びが小さいので、そこは学年団の先生がこの結果を見て次年度に繋げて貰えればと思っています。

1年生の肯定が昨年度の1年生よりは低くなり、50パーセントに届かず45.4%だったことが残念です。

1年生の学年の先生方も家庭訪問、日々の保護者や生徒との懇談や連絡など本当に頑張っていますが、そこは数字を真摯に受け止めて、どこがそういう生徒の評価になっているのか分析ができていませんが、考えていきたいと思います。

次に進路指導ですが、「将来の進路や生き方について考える機会がある」について去年の2年生の肯定評価に対して今年の2年生の評価はという比較ですが、マイナス7.6%と同じ時期の生徒の進路に対する感じ方としては低いポイントになっていますので、学年の方でこの数字を受け止めて次年度は進路を決定する学年になるので、課題として考えていきたいと思います。

次に「学校は進路についての情報を知らせてくれる」についても昨年同時期の2年生と比べてポイントが低いので、この1年間でどれだけ緊密に進路指導或いはキャリア教育について生徒に支援できるかが来年度の卒業生の進路に関わると思います。

学校教育自己診断については以上にさせて頂きまして、本年度の取り組み内容及び自己評価の授業改善に関する項目で、今年度の重点項目として立てた評価指標が達成できたかどうか、○は達成できたもの△は届かなかったものとして自己評価をしています。「授業では積極的に学ぼうと思うような環境が保たれている」は昨年度以上の目標を達成しました。これは先程の自己診断の所でお話ししましたが、先生方が年度当初に確認をして、特に2年生は年度途中からカゴを用意して、教科担当が教室に行くときまず決め

られた生徒が他の生徒のスマホをすべて集めてカゴに入れて自主規制という形で、生徒が授業中に勝手に携帯を触らない取り組みをしてそれが定着して良い方向に向かっていくなど、生徒が安心できる環境づくりを進めた結果だと思えます。それから「教え方に工夫をしている」も達成できたのですが、今年度は教員数人でユニットを組んで授業見学に頻繁に行くように設定したのですが、これは第 2 回の運営協議会でも説明したのですが、1 学期は教員の出入りなどで時間割が固定できなかつたので、ユニット編成が 2 学期からの途中からとスタートが遅くなった分、各ユニットが 5 回以上を達成できませんでした。ここについては来年度も 1 学期当初から固定できない環境になる可能性がありますので、少し指標を下げます。ただユニットとは別に先生方で生徒の安心な環境づくりで 1 人或いは 2 人で授業での生徒の学びの様子、或いは先生の取り組みの様子を廊下や教室の中で見て回るなど個人で取り組んでいる授業見学は活発にしています。

その次の「授業内容に興味・関心を持てる」これについては授業アンケートなのですが、今年立てた 79%には到達しませんでした。去年に比べてもマイナス 2 ポイント後退してしまっているので、この数字を受け止めて改善に繋げていきたいと思っています。

次は「中退防止に繋がる様々な生徒への支援・指導」の項目ですが、まず遅刻欠席。これについても昨年度より少ない状況をめざしていたのですが、残念ながら遅刻率、欠席率共に若干上がっています。先生方には働き方改革に逆行するような働きぶりで対応して貰っているところですが、様々な生徒の背景が厳しい中で改善に結びついていないのが現状です。

次の「生徒指導充実度」、これについては目標値の 60%以上を達成できて、去年よりも 9.8 ポイント上昇しました。生徒の納得感と言いますか、厳しすぎるといふ生徒の意見もあれば逆にまだまだ緩い、先生方が良く頑張っているという色々な生徒の意見が有ります。そういった中で約 10 ポイント上昇したことは評価に値すると思います。

「入学満足度」、これは 64.6%と決して高い数字ではないのですが、昨年度 57%からおおよそ 8 ポイント上昇、これについては先程質問が有りましたが、何が満足なのかということについては今後分析をして、さらに伸ばせるような取組に繋げていかなければならないと学ばせてもらいました。

中学校訪問につきましては、今現在は目標回数の 150 回に達していませんが、もうすぐ入学者選抜があります。そこに向けての中学校訪問、今また先生方に行っているところで、最終的には目標の回数に行くのかなと。ただこれは回数達成したからいいというものではなくて、中学校の先生方あるいは生徒・保護者が、勝山が最後の学年でどうなるのかという不安を持たれている、その不安を解消する、あるいは新校がどのような学校になっているのかということ、しっかりと丁寧に説明することにつなげていかなければいけないと思っています。

それから教員向け学校教育自己診断の教育相談体制の整備、ここにつきまして目標値を下回ってしまいました。ここについては問題意識、年々SSWなどを活用して先生方に

も頑張っていたいただいているところですが、年々改善はしているのですが、まだまだ今の生徒の現状を考えると、「もっとやらかなあかん」という問題意識を持つ先生方が増えているということも含めて、低い評価に抑制されている側面もあるのかと思います。

それから、学校教育自己診断「人権について学ぶ機会がある」これにつきましても、今年度は生徒には本名使用について、本名が語れるような自分の出自を気兼ねなくカミングアウトできるような環境をつくるという在日外国人教育も含めまして、先日先生方に取り組んでいただきました。日常の人権について、生徒への呼びかけや働きかけ、そういったところが目標値に達したことに繋がっていると考えています。

それから教職員の時間外労働ですが、昨年度より時間外労働が月80時間越えの教員が半分以下となりました。ここについては先生方の努力で生徒への連絡はしっかり、あるいは家庭訪問もやっていただきながら時間外労働縮減をご苦労していただいていると思います。

最後、進路・キャリアについてです。学校教育自己診断「進路学習および進路情報に対する満足度」は73.9%と目標値を達成できました。進路未決定率、これから確定していく生徒も含めて昨年とほぼ同じくらいの目標に達する見込みと考えています。それから、学校紹介就職希望者、今年度1月15日時点で81%と、ここにつきましても、先生方の指導の中で生徒は自分の働く先を探していこうと頑張っています。目標値達成しております。

それから朝学については、第2回の協議会でご報告した通りで、2年生の個別指導を来年度、3年生になった時にまた進路につながるような朝学を導入していってもらえるものと思っています。今年度はできませんでしたが、来年度そういう形でやってもらおうと思います。ゆめ学、進学講習につきましても、1年生が3学期からスタートしたのですが、積極的に自分の将来に向けて学ぼうという生徒がたくさん応募して、受講率12%と目標を到達しました。一方で資格検定試験について受験率・合格率は昨年度より下回ってしまいました。ここにつきましてもは家庭の経済的な面や様々な要素もあるかと思うのですが、一方でこういったことにチャレンジする生徒が減ってしまったことにつきまして、どうしていったらいいのかということを考えていかなければと感じています。評価について、以上自己評価させていただきました。よろしくお願ひします。

【会長】ありがとうございます。先生方のまだまだという厳しい目を向けていただきながら様々ところで上昇しているのので、今校長先生からお話があったわけですが、それが裏打ちされた学校経営計画に基づく、各校務分掌、学年等の取り組みの総括が、先程の校長先生のお話の裏打ちとなってくるかと思っていますので、それを伺って、委員様の方から質問があればしていただく形で進めたいと思います。教務部の先生から順番に説明をお願いします。

【教務部】教務部では経験年数の長い短いに関係なく、誰でもいつでも一定業務水準が保てるように、様々な項目のマニュアル化を中心に進めてきました。一部出来上がったものもありますし、途中経過のものもあるのですが、年度末に向けて進めて次年度以降につながるようにやっていきたいと思えます。

【生活指導部】遅刻指導や身だしなみ指導を徹底しましたが、遅刻については8000件以内を掲げていたのですが、おそらく2月の集計をすると越えてしまう状況にあります。ただ、各学年の方で工夫をしていただいて、朝から学校に来るという声かけ、色々な形のサポートをして今年度終えているので、来年度にもつなげて学校に1人でも多く朝から来られるような状況を作っていきます。身だしなみに関しては、ピアス指導を取り入れ、新しい指導もしながらやっている状況です。

【進路指導部】進路指導部では、3年間を見通した進路指導を各学年の進路担当者が取り組んでいます。行事は大体決まっているのですが、どのように取り組むかや中身の方は各学年の担当が工夫をして行うようにしています。3年生の現在の状況ですが、就職は春から学校の就職を希望している生徒は全員決まっています。進路変更等があった生徒が現在就職活動中ですが、おそらく良い結果になるという状況です。就職はもうそろそろすべて決まると思えます。進学は少々多めではあったのですが、看護をめざしている者が一浪をするかなという現状ではありますが、ほぼ全員決まっているという段階です。本年度、3年生の進学が多かったのは、奨学金制度の充実が今年度からありますので、そういう影響もあつてのことかと思えます。

【総務情報部】図書館の関係と芸術鑑賞についてです。昨年よりも生徒の数が非常に減りまして、図書館の来館者数が非常に少なくなっています。特に、現在学年末試験を実施しているのですが、図書館を勉強等で利用する生徒がほとんど居ない状況になっています。それは1学期2学期とも同様で、放課後の利用者数が激減しております。

芸術鑑賞は目標どおり実施することができたのですが、次年度以降は生徒の数が減りますので、実施方法、予算の立て方、内容について議論していく必要があります。

第2回学校説明会は47名の方に来校していただきまして、昨年よりも12名減っているのですが、私が予想していたよりも非常に多くの方に来ていただけました。今週の土曜日に最後の第3回学校説明会を行います。また勝山高校の説明を丁寧にしていこうと思えます。

【生徒自治会部】前回の協議会で、ほぼ行事等のことはお伝えしたと思えます。現在進行しているものでクラブ活性化を含め、来年度の新入生への発信をHPに、1クラブずつ載せている状況です。来年度に向けて新入生歓迎会の準備、それから現在卒業式に

向けて生徒自治会の企画で、垂れ幕等で盛り上げていこうということを実施しております。

【保健部】今年も検診、点検等滞りなく行うことができました。また、美化につきましては分別用のゴミ箱の導入がありました。導入したのですが、まだまだ徹底に向けて動いていかなければならないと考えているところです。

【第3学年】3年生も細かい事はいろいろ有ったのですが、最終目標である卒業に関しましては、今年度一人も中退者なく全員卒業ということになりましたので、目標が達成できたと考えております。

【第2学年】第2学年は1年間通して生徒の成長がみられたな、ということもあるのですが、やはり生活習慣の部分がしっかり改善できていなかったなと感じています。来年は進路をしっかりと考えさせて、卒業に向けて頑張っていきたいと思っています。

【第1学年】1年生は進路に向けて、3年間の基礎固めとして3つの目標を立ててやってきました。来年度はより進路実現に向けてやっていきたいと思えます。先ほどアンケートにもあった点と、ポイントの低いところに関しては学年で話をし、どうしていったらいいかということを検討していきたいと思えます。

【委員】今の報告では3年生、2年生、1年生のそれぞれの方々の思いがまったくわからない。3年生は全員卒業できて良かった、何故良かったのかの評価をして欲しいのです。2年生で成長がみられました、どんな成長がみられたのですか。聞きたいのはそこなのです。そうしたら、それは良かったですね、そうしたら次にもこうしましょう、というところが見えるのですが、わからない。細かいことを書いていたのはわかるのですが、書いてあるのを私も全部読まないし、いちいち記憶していないのです。1年生の進路の基礎ができましたと。次にはどういう基礎を伸ばしていくための方法が自分の中にイメージができているのか、そういう次回につながるような、イメージできるものをお知らせいただかないと評価できないです。3年生の卒業に対しても、2年生の、1年生の方にももう一度そこをお知らせいただけませんか。

【第3学年】学校の問題としまして中退者が多いということと、遅刻・欠席が多く、進級できない生徒が多いこともありまして、遅刻と身だしなみの点に関して特に力を入れて3年間やってまいりました。その結果、3年生での中退者がゼロになったことはある程度取り組みの成果が出たのではないかと考えております。

【委員】 3年生の学力が低下しないで誰も脱落しなくて、みんなが授業についていって全員がカリキュラムを終えたことがすごいことですね。先生方の取り組みがそこに成果として現れているのですよ。なぜ、そのようにできているのかを分析してください。そういうことを一つずつやっていくともっと伸びていくと思います。私が最初に言ったように、いくら悪い子でも褒めて育てていくしかないのです。褒める部分いっぱいあるけど、あまり言葉に出てこない、ポイントだけが上がったことの評価ではないのではないかと思います。それぞれの学年に対してあると思うので、もっとそこを強調してください。

【第2学年】 2年生になってクラス替えがあり、人間関係の部分がなかなか難しく、当初から登校できない生徒がいました。教員が入ることによって、その関係がある程度改善され、2学期になってから登校できるようになってきました。また授業遅刻が多いことに対して教員が声を掛けて注意するのですが、1学期2学期に関してはそこまで危機感を感じられなく、行動に移せないことが多くありました。2学期の終わりから先生方にご協力をしていただいて、指導という形で関わらせてもらいました。声掛けをすることによって、廊下を走って授業に間に合うようにという姿勢が見られたので、成長したと思います。

【第1学年】 今年基礎固めと伝えさせていただきましたが、まず、基本的な生活習慣が身につけていない生徒がたくさんいました。それからもう1点、中学校に行けない生徒がたくさんいたので、コミュニケーションがとりにくいというこの2点が課題で、1年次は基本的な生活習慣の確立を働き掛けてきました。生活指導面中心になるのですが、それプラス家庭連絡を密に取ったこと、それから家庭訪問もたくさんやらせてもらいました。最後のテストの出席状況を見て、当初に比べて成長が見られます。2年次ではこのことがあたりまえのことなので、次は行事などを通じてもっと主体的にコミュニケーションをとることや、就職や進学などの進路指導をたくさん入れて、意識させてそこで勉強のモチベーションを育てていくことをやっていきたいと思います。

【会長】 次に移らせていただきます。校長から、平成31年度の「学校運営に関する基本的な方針」について説明をお願いします。

【校長】 A3版で「31年度学校経営計画および学校評価」という資料をお配りしていますが、その1番目のめざす学校像と2番目の中期的目標、この2つが学校の基本的な方針ということになります。今回から次年度の学校の基本的な方針を学校運営協議会で委員の皆様方にご承認いただく手続きが必要になりますので説明させていただきます。

第2回運営協議会の時に、盛りだくさん過ぎて焦点が定まってないにご指導いただきました。委員の先生に挙げていただいた項目を参考にして、絞ったら3つなのです。

1つは中退防止や生徒支援、2つめが授業改善、3つめがキャリア・進路支援、この3つが柱です。

まずめざす学校像。これにつきましては、今年度挙げておりました教職員が一つの思いで生徒に関わっていくという項目は外しまして、最初に簡単なタイトルをつけて分かりやすくしました。1つめが生徒の自立を支援するという、これはめざす学校像のたくましく自立・しっかり自律ということからなのですが、この生徒の自立支援がやはり基本的な生活習慣、それが学校生活への定着、ひいては中退の防止ということの基本になると思います。そして2つめ、確かな学力を育む、ここが授業改善に結びつける学校の目標、めざすところ。3つめの中退防止、本校はこれまで中退が多く、10年前の非常に大量に中退をしていた状況から一昨年度まで徐々に改善してきていたのですが、定員割れということもあり、昨年度は中退率が上昇してしまいました。ここは重点的にもう一度項目としてあげて取り組んでいくことをめざすこととしました。4つめは自他を大切にすることを育む。これにつきましてもやはり生徒が、学校が安全で安心できる、そして友達とあるいは教員とコミュニケーションを交わせる場である。生徒の居場所になること、そのことから進路実現や中退の防止につながる根本的な、基本的なことと考えております。

5つめの明るく開かれた学校、ここにつきましては地域に支えられて、地域の教育力もいただきながらやっていくことをめざす学校像の5つめにしました。このような形で少し整理をしました。大きくは変えておりません。

中期的目標につきましては、大項目の1つめが授業改善、2つめが生徒支援と中退防止、3つめがキャリア教育・進路実現で、それぞれあまり絞れてない、同じくらいボリュームがあるように見えるのですが、先ほどの3点に絞って、普段日常から先生方が取り組んでいることを再整理しました。各項目ア、イというように、去年はウや3番目の項目がありましたが、すべてア、イの2項目に整理をしました。それから大項目の4つめ、昨年度は部活動・学校行事の活性化を入れていたのですが、ここから取りのぞきました。今年度の4月に入学してくる生徒が勝山の最後の生徒になります。次は新校の生徒と歩みを共にするのですが、教育内容も仕組みも変わってきますので、一緒にできる行事とできない行事もあります。この辺りは今後検討していかないといけないので、4つめは勝山高校と新校がともに円滑な学校運営を行っていけるように今後3年間かけてその両校が併存するところを、いかに両校の生徒が充実した学校生活を送れるかを知恵絞って、対案はこれから決めていくところになります。簡単ではありますが、このような形で来年度の目標を設定したいと思っております。よろしく願いいたします。

【委員】 来年度の学校計画ですが、3つめの中退学防止。中途退学したかどうか分からないのですが、店の前を自転車で通る、歩いて通る生徒が若干減ったかなと思います。今まで、早い生徒で8：15くらいに通ってます、何人かは8：30くらいまでに通つ

ていりなのですが、8：40以降は見ないのです。どうしたのかなと思っています。それは中途退学したのか、その日たまたま欠席したのか、もっと遅くに来たのか、そこはわからないのです。そこを最近思っています。

【校長】いつも毎日、生徒の動きを気にしていただきましてありがとうございます。店の前を通ってくる生徒は、どちらかというと南の方、生野区あるいは平野区の方から来る生徒が多いと思います。生野区、平野区からの生徒は本校にはたくさんいるのですが、ご推察のところと当たっているところと違うところと、両方あると思います。残念ながら2学期の後半ぐらい、夏休みが明けてからですね、なかなか友人関係がうまくいかなかったり、あるいは家庭の様々なこともあったりして長期欠席に入ってしまう生徒、その生徒が、ここにきて来年度は別の学校に転学して環境を変えてやり直すであったり、今アルバイトをしているところで、子どもは学校だったら遅刻して行くのにアルバイトだったら一生懸命行っているの、保護者の方が、いったんそちらのほうでしっかり生活させた上で考えさせるという結論に至ることもあります。そうやって結局退学するという生徒がこの12月にも少なからず出ていますので、気にかけていただいた生徒の一部はそういうことだと思います。逆に、今この時期最後の追い込みでようやくおしりに火がついて、遅刻していた生徒が少し早く来ていることもあると思います。そうやって言っていただきましてありがとうございます。

【会長】そうしましたら、基本的な方針、来年度に向けてということで一言ずつよろしくおねがいします。

【委員】学校経営計画の1番2番3番、まあ2番の具体的な中期的目標で、1番でしたら学力向上や授業改善の部分、チームの方でこれを受けてぜひとも機能的な動きをしていただけたら変わるのかなと思います。2番でしたら人権教育と生徒指導で年間計画を立てた上でどう実施していくかというのを、総括をしたあとの次年度に向けての話し合いをやっていただきたい。3番についてはキャリア教育・進路教育になっていくと思うので、これに基づいて各部会が機能的に動けるような形、それがまた生徒にも生きていくような形になればと思います。

【委員】次年度の計画につきましてはぱっと見た限りでは変わっていないかなと思ったのですが、校長先生からお話していただきまして、ずいぶんわかりやすくなったなと思い、すごく感心しました。また参考にさせていただきたいと思いました。アンケートについても、大学でも年度末でたくさんのアンケートをやっているところで、今回勝山高校での結果はすごく参考になります。数字だけを見れば、実は我々よりもずっとすばらしい数字になっていまして、これも各先生方が一生懸命活動された結果なのだろうと思います。

す。ただ一方で、我々も努力していないかと言われれば毎年努力しているのですが、教育なりシステムに完璧なものではなくて、授業は毎年改善しているのですが、毎年同じような授業をしても生徒が変わってくればその評価も変わってきます。遅刻をする生徒が大学院生でも増えている状況があり、私自身もどうしたものかと頭を悩ましているのです、いろんな先生や勝山高校の先生方の取り組みを日々参考にしています。この計画の最後にかかれてある教職員の力を集めて工夫改善を進めていく。本当にこれに尽きるのかなと思っています。先生方もこれまでも十分にやられていると思うのですが、一方で組織の評価が、何か頑張っているけど全然浮かばれない、そうになってしまうのは非常に残念なことで、そうならないようにするために、校長先生、教頭先生それから首席の先生も含めてしっかりと学校の組織としてのマネジメントをしていただきたいと思います。また先生間でも「よくやった」と褒めるのが大事と言われましたが、どういう結果かわからないのですが、3年生で一人も中退が出なかったことをみんなで是非喜んで褒めてあげるといふ文化があるといいなと思いました。逆に、頑張ったけどうまくいかなかったらじゃあどうしたらいいのだろうと相談し合う同僚性をもっともっと生まれてくるといいなと思っています。最後になりますが教員だけですべてやろうと思うと本当に大変なので、例えば携帯電話のお話がありましたように生徒たちを巻き込んで、みんながいい学校をつくっていく、という取り組みをやってもらいたい、生徒さん達を信頼して巻き込んでいくという活動もしていただけると、それが実を結んでいくと思いました。

【委員】学校経営計画のめざす学校像と中間的目標ですが、あまり去年と変わっていないことと、めざす学校像ということに対しての目標を掲げた方がわかりやすいという印象を受けました。高校は社会に出るため、また大学に行くための準備期間と思いますので、それに対して夢学とかインターンシップを1年生の時から取り入れて、自分の将来をどうしていきたいのかを早い段階で生徒に取り組んでもらうのが必要だと思います。

【委員】先ほどの続きになりますが、遅刻早退をなるべくなくすように指導していけば、もう少し上がるのではないかなと思います。

【委員】課題があったと思うのですが、例えば図書館、午後には誰もいないです。それに対して何が必要なのか、何で図書館に来てもらわなければいけないのか、その方向をこの中に生かしている文章がどこにあるのか。課題が有ることがわかっているのに改善していないと何も変わらない。その課題に対して、ここに改善点があって次に進んでいくPDCAのまわし方だと思います。ここは毎年同じこと言うのですが、校長先生がただ単に作っているだけですか、課題を先生方から聞いて、改善してこうなっているのだというところがあるのかないのか見えないので、そこは校長先生と教員の方の間で議論を重ねて、この文章がそこなのだということをお伝えいただけたら動き始めるのではない

いかと思います。

【校長】 ご指摘いただいた、先生方の意見がどこに反映しているのか、ということですが説明が抜けていました。そういうご指摘を以前いただきましたので、今年度まず私がたたき台をつくりまして、職員会議で先生方に見ていただきました。各分掌、学年でまた議論をして意見をいただいて、それを入れて作ったものです。

【会長】 委員の皆様一言ずついただきましたので、この学校運営に関する基本的な方針をご承認いただけますか。

【委員】 異議なし。

【校長】 ご承認いただきまして、ありがとうございます。あらかじめお伝えしておかないといけなことがあるのですが、今ご承認いただいた基本方針ですが、教育庁にも提出してまして、この表現はこうしてください、などの表現上の問題であれば内容には関係ありませんので、その場合の報告は割愛させていただきます。教育の根本的な内容について教育庁の指導で変更点が出てきた場合は、電子メールや FAX、あるいは持参で「ここがこう指導が入って、こう変更しようと思うのですが」ということで、資料を届けます。1週間程度の間でまたご意見あればいただいて、お一人でも委員の方からご意見いただいた場合は、またそれを皆様にお伝えするというキャッチボールになります。教育庁の指導と委員の皆様の納得していただける点の着地点を探るという作業が、今後あるかもしれませんので、その節はお願いします。もしも教育庁からそういう指導があって、ご報告させていただいて皆様からご意見がなければ、それでご承認いただけたものとして、再度煩わすことはしませんのでよろしく願いいたします。

【会長】 校長先生からお話いただきましたように、キャッチボールあるかもしれませんが、委員の皆様よろしく願いいたします。

次年度は勝山高校の発展形として、名前も新たに新たな教育への挑戦で改革されるわけで、皆様大変だと思います。大正 11 年創立以来、100 年近く勝山高校の卒業生が巣立っており、今も学校内を見させていただいたら、先生方の力が息づいているのではないかと感じています。勝山高校に通った、勝山高校を卒業してよかったなという誇りと足跡を、夢を見つけられるような形にご指導いただいて、一生涯の人生計画の日々を子どもたちとともに、校長先生はじめ、教職員皆様みんなで作っていただければ、振り返ったときに生徒が「みんな頑張ったな」という足跡が刻まれるのではないかと思います。それは、子どもたちの自尊心、自尊感情にもつながっていくと思います。色々な話を聞かせていただきまして、私自身も勉強にもなりました。校長先生はじめ、先生方にはご苦

労をおかけしますが、また今後ともよろしく願いいたします。議長としてまとめになったかどうか分かりませんが、1年間本当にありがとうございました。以上で降壇させていただきます。

【教頭】次第の4番に移りたいと思います。校長謝辞、よろしく願いいたします。

【校長】今年度3回にわたりまして、毎回我々が至らないところ、気づかないところをご指摘ご指導いただきまして、ありがとうございました。その点、次年度の改善にいかして、またこの場でご報告するときには、しっかりと分析した内容をできるように努力してまいります。先生方は本当に頑張ってくれているのですが、勇気付けられるお言葉も、温かいお言葉も頂戴しまして、本当にありがとうございました。また、来年度委員の2期目でお世話になりますが、どうぞよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

【出席者】ありがとうございました。

【教頭】これで閉会となるのですが、2点連絡をさせてください。1点は次年度の件です。次年度、第1回目の学校運営協議会を6月上旬に予定していますので、また連絡させていただきます。2件目は本日の議事録を作成しまして、委員の皆様にお持ちしますので、確認の方よろしく願います。これをもちまして第3回学校運営協議会を終わります。ありがとうございました。

【出席者】ありがとうございました。